

# 平成28年度第10回 未来創造セミナー実績報告

平成29年2月25日  
草津市総合政策部草津未来研究所

## 1. 平成28年度未来研究所事業 未来創造セミナーの目的

平成27年度は、草津市、特に南草津駅を中心とした地域の課題解決には「気軽に自由に議論や話ができる空間が演出され、常に新しい出会いが創造」される場が必要との過去の調査研究等の提言を受け、常設拠点の必要性の確認と常設拠点を設置した場合の運営手法やプログラムの検討を目的に「未来創造セミナー」を6回開催しました。その結果、このような家庭でも学校でも職場でもないいわゆる第三の場所“サードプレイス”が南草津駅には必要なことがわかりました。

一方で、大学との連携強化プランを検討する草津市大学地域連携強化プラン懇話会を設置し、新たな大学と地域の連携拠点として全国11か所で展開されているアーバンデザインセンターの一つとして、(仮称)アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)を開設することが了承されました。

平成28年度は産学公民連携のプラットフォームであるアーバンデザインセンター(平成28年10月15日(土)に市民交流プラザ内に開設予定)を拠点として連携・協働の土壌づくりを目的に未来創造セミナーを開催します。

## 2. 未来創造セミナーの目的

平成27年度の未来創造セミナーの試行結果、及び草津市大学地域連携強化プラン懇話会における議論等を踏まえ、アーバンデザインセンター事業として実施する平成28年度の未来創造セミナーについては主に次の二つの目的で実施することとしました。

	機能	内容	回数
未来創造セミナー	交流	多様な人々の交流を目的に草津の歴史や草津に住む人々のライフストーリー等を語ってもらう場	4~6
	連携	産学公民連携により、草津の未来のイメージを具現化するアイデアを纏め、社会実験等に接続	4~6

### 3. 第10回 未来創造セミナー概要

#### (1) テーマ、目的等

##### ①テーマ

「第2回 UDCBK 新拠点を考える」

##### ②目的 (連携)

～まちづくりキャンパスをデザインする～と題して2回にわたってUDCBKの新拠点について考える。第1回のワークショップで得た参加者の意見を集約、分類・整理した内容に沿って図面化したものをパースなどを使用して提案、参加者の意見を聞く。

③開催日：平成29年2月25日(土曜) 13時30分から15時

④開催場所：草津市市民交流プラザ オープンスペース

#### (2) 当日のスケジュール

13:30	開会
13:35	アドバイザー紹介
13:40	スケジュール説明
13:45	第1回のワークショップでの意見・分類説明、それに基づく提案図説明
14:25	参加者からの意見・質疑応答。
14:55	アドバイザーからの意見まとめ・今後の予定
15:05	閉会

### 4. 第10回未来創造セミナーの内容について

#### (1) アドバイザー紹介

及川 清昭UDCBKセンター長(立命館大学建築都市デザイン学科教授)

武田 史朗UDCBK副センター長(立命館大学建築都市デザイン学科准教授)

設計協力 草津市建築課職員 建築技師 植西宏晃主査

設計担当 森野設計 代表取締役 小川光男社長

#### (2) 第1回ワークショップでの意見説明、分類説明

前回のワークショップで出された意見をアーバンデザインを生み出す条件として以下の基準で分類

① 誰もが気軽に自由に話し合える場所があること

② 地域の政策や課題について伝えたい人が容易に出会い、学習する場所があること

③ 街に愛着を持ち、共同体に属して生活していると実感できる  
さまざまな活動があること

★以上の分類した意見に基づいて設計図や内装予想図を提案、意見を求める

図1. 集約・分類した意見一覧資料

図2. 意見を基にした設計提案資料

### (3) 参加者からの意見・質疑応答

- **男性・女性トイレに多機能トイレと3つのコストを減らしてその他の設備に活用してはどうか？**  
→トイレは男女に分けないといけないと考えており、多様な人の拠点であるため、多目的トイレは必要であると考えています。
- **図面ではワンルームだが用途に応じて椅子に座る場合と床に座ることが可能な仕様か？**  
→特別な仕様はなく、シートを使用するなどして対応できるものと考えています。
- **可動式家具をパーティションに代用するより透明のホワイトボードなどにしてはどうか**  
→全体に棚を必要とすることや、2つ以上のワークショップや会議などが外からも見えるように考えています。
- **防音は？**  
→建物自体の構造が鉄骨なので防音整備まではできないが、スクリーン上映程度の音響では影響がないと考えています。
- **ボルダリングはもっと高くして外に対するアピールが出来るものが良いのではないか？**  
→壁そのものの強度を考えて難しいのかなと思いますので子供用を想定して安全やコスト、管理上も課題があると考えています。経費で検討させていただきます。
- **入口ドアはどんな風になるか？**  
→建物の規約上、既存ドアを使用しなければならない。タッチ式自動ドアを既存利用する考えです。
- **風除室をどうするかスペース面や入り易さと風除室により分断されるので風除室は無くてもいいのでは？**  
→風除室は2回ドアを開けなければならないので、入り易さからタッチ式自動ドアだけで検討します。
- **路面からのサインは？**  
→正面上部に内照式の「UDCBK」の看板を設置予定しています。柏の葉と同じようなものを考えています。ロゴの色で設けます。
- **「UDCBK」のアルファベット表記を一般市民に周知する方法は？**  
→「アーバンデザインセンターびわこ・くさつ」表記を示すなど工夫を検討します。  
路面に向けてデジタルサイネージなどを予算上も含めて検討していきます。  
※映像や情報を内外に向けて発信するため計画段階で整備  
(今の段階ではネット環境整備など)  
→UDCBKが何をしているところなどが分からないので外部から分かる様な表示などを検討しています。

- **多言語を表示して誰もが入りやすいサインが必要**  
→検討事項とします。
- **文化や魅力を発信が必要**  
→皆さんで作りに上げる感じで進めて行けたら良いと思います。
- **ショーウィンドー面のジオラマスペースは当面どうなるか？**  
→ジオラマ完成までフリースペースとなります。
- **壁面の棚は造り付けか？**  
→現段階では造り付けを計画していますが、可動できる備品も考慮しています。
- **キッチンの規模は？**  
→本格的に調理するというより持ち寄ったものを食べる程度で温めるなど喫茶用が主です。IHを2口とシンクといったミニタイプを計画しています。
- **コンセントは各所で確保できるのか、天井から吊るすコンセントなどが必要ではないか？**  
→コンセントは壁に相当程度確保する予定ですが、天井からは高い位置からになるのでダクトを多く配置するため、コスト面からは困難であると考えています。また、床面にフラットケーブルで対応する方法など検討します。
- **テーブルのカスタマイズ組み合わせ可能な可動テーブルや楕円形など利用し易いものがよい**  
→コスト面で難しいと考えています。また、現在使っているテーブルも新拠点に移設する必要があります。
- **高い天井に対する空間照度問題は？**  
→適切な明るさ、テーブル上・床面で500ルクス程度を確保できるように計画しています。
- **使用目的に沿った照度コントロールは可能か？**  
→コストを考えて検討してみます。
- **4m高さにあるメッシュレールをどのように使用するか？**  
→現段階でメッシュレールに照明器具（スポットライト）を設置予定です。  
バナーなどを吊るすなどために使い勝手を考慮して高さの調整も検討します。
- **学生はどのようにこの空間を利用したいか**
  - ・遊ぶ目的であれば他の施設に行くのでUDCBKでは自習などで利用したい。
 →自習などは、別でワークショップ参加前に利用するなどいつもの人と違う交流ができるのが望ましい。

- wi-fi や電源が充実していて快適な空間であれば条件は満たしている。  
あとは設備であったり学生が入りやすい雰囲気・仕掛けのソフト面を充実させる必要があると思います。
- wi-fi 環境は現段階では携帯電話を利用して同時に 10 台が対応できる様に想定しています。

- **備品・什器**

→テーブルは既存のものを持っていくことになるが、テーブルにキャスター付きのものを予算化している。備品を入れる時も意見を聞くことをしてはどうか。  
ソファや本棚などは重要でディスプレイ的な面でも必要だと思います。

- **草津の魅力や情報発信の場にしてほしい。**

(4) アドバイザーからの意見まとめ

<及川センター長>

今日みなさんのお話を伺って、壁面などの展示物やプロジェクターを使って情報発信していく方法もあるし、建築面で用途を固定するよりみなさんで使っていくうちに常に変化していくしかけを考えるのも一案かと思う。空間のイメージをつくりあげる家具（什器）も重要な要素であり、既存の什器や予算を精査してバランスを見ながらみなさんでつくりあげていただきたい。

<武田副センター長>

具体的になるほど要望が増えていくので最初の段階で慎重にコスト設定していくべきであると感じた。逆に、予算によって「できなくなること」を防げるように大枠については設計を進めるようにして什器や備品への予算に余裕を持てるようにしたい。最大限みなさんの意見を取り入れながらコストコントロールも進めていきたい。

今後の予定について

本日の意見を加味し、3月下旬までに具体的な設計をしていきたい。UDCBK運営懇話会の委員に承認を得て、皆さんにパースなど用いて完成予想図を提示します。備品等についても意見をいただきながら、進めて行きますので、よろしく願います。

## 5. 未来創造セミナーとしてのまとめ

### (1) 参加者属性

2回のワークショップを開催して連続して参加していただくことは難しいですが、1回目と同様にアンケートを提出していただいた男女の比率は同じでした。

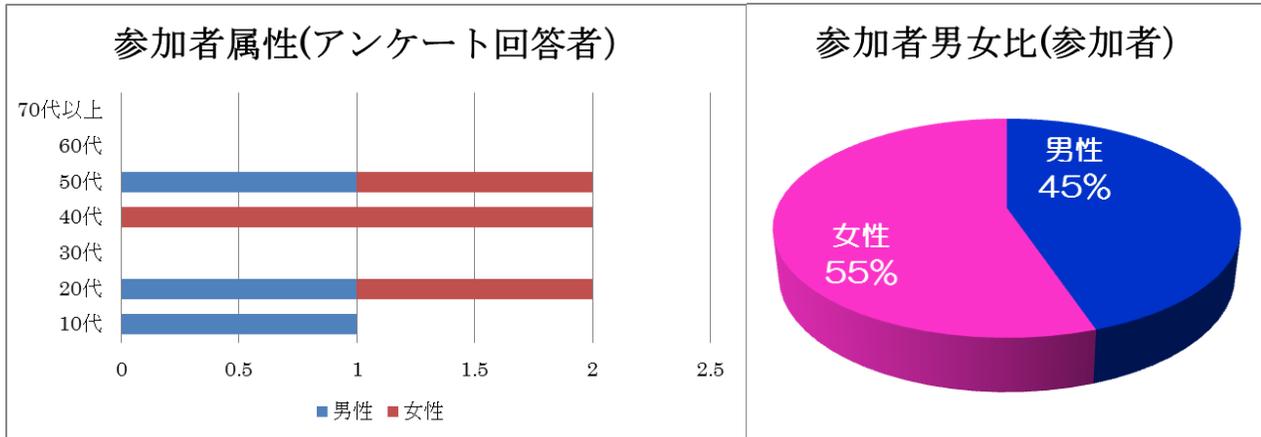


表1. 性別・年代別集計 (アンケート回答者)

表2. 参加者男女比

	草津市内	滋賀県他市	滋賀県外
居住地	5	2	0
勤務地	5	0	2

表3. 居住地・勤務地集計 (アンケート回答者)

### (2) アンケート集計結果

アンケート回収数は7件で、回答率は54%でした。2回連続のシリーズで、前回第1回参加者は29名、今回は13名でした。

1回目のワークショップから出していただいた意見を概ね凶面に反映できたと考えていますので、2回目のアンケートの内容は少なくなっているのではないかと推測しています。

### どこでこのセミナーを知りましたか？

Facebook	市役所のホームページ	UDCBK オープンスペースの案内	チラシ	先生・知人・友人	その他
3	2	0	1	0	0

## 今回のセミナーはいかがでしたか？

面白かった	ふつう	面白くなかった
4	3	0

### (3) アンケートによる意見

- 前回のワークショップと両方参加しました。前回話した内容が資料に全部のっていて活かされているのがわかって良かったです。いろんな意見が出ましたがこれから採用してもらえるのが伝わって参加して良かったです。
- みなさんの要望がいっぱいだったので“どう使っていくのか”が重要なのかと思いました。
- ボルダリング、家具などの仕掛けを作ることが大切だと思った。
- 懇話会の委員の方たちに参加してもらえばよかったと思います。→何も知らずに文句だけ言う人がいるので参加のよびかけを是非してほしいです。今日のワークショップよかったです！
- ソフト面のことになりましたがマルシェが欄外になっています。創業支援、顧客になりそうな方から感想を聞きながら商品サービスを創る場としてマルシェはメニューとしてのせていただきたい。飲食の立ち上げを考える方のメニュー開発という機会をつくれるとしたら免許をとる為にキッチンの水槽が2つあるなどクリアできる条件を満たせると可能性が広がる。

### (4) 未来研究所としての成果

市民参画のまちづくりを進めるための拠点として、具体的に市民の意見を反映できる機会を持てたことは大変有意義であり、また、専門家の意見も聞きながら正しく公民学のワークショップが出来たと考えています。短期間ではありましたが、草津の未来を見据えたまちづくりの拠点として、市民の方々と共に創り上げるひとつの形が出来たと思います。

### (5) 今後の課題に

市民の皆さんには貴重な意見を忌憚なく出していただけて大変ありがたく感じています。しかしながら、予算上の制約等もあり、皆さんが利用し易く、多くの方々に愛される施設として整備するには更なる検討を要するところであります。今後、整備が出来てからも市民の方々と共に創り上げていくことが出来るようにソフト面においても検討する必要があると考えていますので、市民の皆さんから更に新たな意見がいただきたいと考えています。

以上